

坂ノ途中、国連WFPと連携したラオスでの コーヒー生産支援プロジェクトを完了

苗木16万本を配布し、目標達成の見込み。持続可能な産地づくりへの第一歩

株式会社坂ノ途中の海外事業部「海ノ向こうコーヒー」は、国際連合世界食糧計画（国連WFP）と SAFFRON COFFEE（サフロンコーヒー）の3者で取り組む、ラオス北部におけるコーヒー生産支援を通じた生活・栄養改善プロジェクト「Cocreation of Food Security for Farmers with Economic Empowerment with Japan（COFFEE-JAPAN）プロジェクト」を予定どおり完了しました。その活動結果を報告します。



ラオスは国土の多くを山地や高原が占め、GDPの約4分の1を占める農業が主たる産業の一つとなっています。近年は経済成長を遂げているものの、アジア諸国の中で所得水準が低い最貧国の一つと位置付けられ、地域間の経済格差が大きな課題となっています。

本プロジェクトは、ラオス北部の貧困率の高い地域に暮らす小規模農家とその家族の所得向上を通じて、食料および栄養の安全保障を強化することを目的に、2023年11月にスタートしました。対象地域は、モン族やカム族など山岳少数民族の人々が多く暮らしており、森林減少など環境破壊が深刻化しています。

国連WFP が、栄養バランスのとれた食事や調理の仕方、自給的な果物や野菜の栽培方法、家畜の育て方などのサポートを担い、海ノ向こうコーヒーはサフロンコーヒーの協力のもと、対象世帯の収入向上を目的としてコーヒー栽培支援に取り組んできました。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社坂ノ途中 広報担当：小西 TEL：050-7111-4709 MAIL：pr@on-the-slope.com

(1) 産地の育成



坂ノ途中はサフロンコーヒーと連携し、計8村のコーヒー生産者に苗木を配布しました。併せて、苗床の管理方法や苗木の植え付け方法など、栽培から収穫に至るまでの技術・知識を共有するワークショップを実施。定植した苗木は合計16万本にのぼり、目標数値である34トンのコーヒーチェリー生産を達成する見込みです。コーヒーは、収穫までに約3～4年を要するとされていますが、村の人々と関係性を築きながら、長期的な視点で産地づくりに取り組んでいます。

(2) 加工体制の整備



苗木の配布や技術研修にとどまらず、持続的な生産体制を構築するため、簡易加工場を設置しました。コーヒーの発酵、乾燥プロセスに必要な、貯水タンクやパルパー（果肉除去機）などの機械を導入し、産地内で一次加工まで行える体制を整えています。これにより、生産者の収益性を高め、品質を安定化させることができ、継続的な流通につながることが期待されます。

(3) 認知向上



本プロジェクトでは、産地で新たな雇用を生み出すとともに、坂ノ途中が販路を担うことで、産地と長く協働していくための基盤を築いてきました。こうした取り組みを広く知っていただくため、インパクトレポートの発行など広報活動を進めるほか、国際開発学会において本プロジェクトを事例とした論文発表も行っています。

■インパクトレポート 「Cocreation of Food Security for Farmers with Economic Empowerment with Japan (COFFEE-JAPAN) プロジェクト」

URL:https://uminomukou.com/umib/wp-content/uploads/2026/02/COFFEE-JapanPROJECT_ImpactReport_s.pdf

■国際開発学会第36回全国大会 「国際開発における民間企業参画の有効性と限界—ラオス人民民主共和国における国連と民間企業の共創プロジェクトを事例に一」

URL : <https://pub.conf.it.atlas.jp/ja/event/jasid2025annual/presentation/1J03>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社坂ノ途中 広報担当：小西 TEL：050-7111-4709 MAIL：pr@on-the-slope.com

本プロジェクトは2025年11月をもって完了しましたが、坂ノ途中は今後、ビジネスパートナーとして産地との関係を継続し、生産されたコーヒー豆の販売を行っていく予定です。持続的な関係性を築くことで、生産能力の向上や現地での雇用確保を図るとともに、経済的価値にとどまらず、産地に根ざしたコーヒーづくりや環境保全に対する意識醸成にも引き続き取り組んでまいります。

プロジェクト動画URL : <https://youtu.be/EVfhaD6h-ZM>

コメント

～株式会社坂ノ途中 海ノ向こうコーヒー 宮崎咲弥～

ルアンパバーンの街中から村までは最短でも3時間ほど。未舗装の山道のため、移動にさらに時間がかかることもありました。そうした中、何度も村を訪れ活動を続けてくださったサフロンコーヒーのトッドさんをはじめ、プロジェクトチームの皆さんには心から感謝しています。

苗木の配布、加工場の設置など、目に見えてわかる成果はある一方で、収入や生活力の向上といった変化を数値で測ることは、現時点では難しいのが正直なところです。それでも、「あなたたちに買ってもらえる保証があるから安心して栽培に取り組める」という農家さんの声が示すように、私たちの関わりが生産への意欲につながっていることは確かです。プロジェクト期間は終了しますが、コーヒーを通じて築かれた信頼関係は続いていきます。コーヒー生産が、農家一人ひとりの希望を支える一助となることを願っています。

～サフロンコーヒー 代表 トッド・ムーアさま～

ラオスの山岳地域に暮らす農家さんは、環境の変化に柔軟に対応できる一方、インフラ不足や不利な取引条件により脆弱な立場に置かれています。しかし、農家さんは、コーヒーのバリューチェーンにおいて欠かせない存在です。「コーヒーは、美味しいだけでなく、良いものでなければならない」というサフロンコーヒーのモットーには、ともに働く農家さんや自然環境にとって公正で前向きな選択をする、という姿勢が込められています。

このプロジェクトは、低所得層の家庭に新たな収入の選択肢を提供し、栄養や教育、健康面での向上を支えると同時に、森林保全や再生にもつながります。さらに、水のインフラ整備により生活基盤の強化を図ることもできます。コーヒー業界にいる私たちは、バリューチェーンの各段階を支え、改善の選択をする機会もあれば、その逆を選ぶこともあります。より良い選択をする責任は、バリューチェーンの最終段階にいる消費者としての、私たち一人ひとりにあるのです。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社坂ノ途中 広報担当：小西 TEL：050-7111-4709 MAIL：pr@on-the-slope.com

プロジェクト概要

- プロジェクト名 : Cocreation of Food Security for Farmers with Economic Empowerment with Japan (COFFEE-JAPAN)
- 目的 : コーヒー生産者への生産支援、生活・栄養状態の改善
- 実施者 : 株式会社坂ノ途中、国際連合世界食糧計画、SAFFRON COFFEE
- 契約期間 : 2023年11月～2025年11月
- 対象 : ラオス北部の8村約680世帯
- 実施場所 : ラオス北部のルアンパバーン県ポンサーイ郡・ビエンカム郡
- プロジェクトページURL : <https://uminomukou.bcart.jp/page/cjp>

海ノ向こうコーヒーについて

ラオスやミャンマーなどアジアのスペシャルティコーヒーを中心に、世界30か国、100種類以上のコーヒー豆を販売。コーヒーの栽培方法や精製プロセスを向上し、資金や販路構築のサポートを通して、産地の豊かな環境や人々の暮らしを未来につなぐことを目指しています。

URL : <https://uminomukou.com/>

<2025年度の取り組み>

- ガラパゴス諸島の生物多様性保全と小規模農家の生計向上事業
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000050.000041621.html>
- コーヒーサプライチェーンの脱炭素化のためのGXモデル構築調査
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000047.000041621.html>
- 書籍「世界のビジネスエリートが身につけているコーヒーの教養」を刊行
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000040.000041621.html>

<株式会社坂ノ途中>

環境負荷の小さい農業の普及を目指し、国内では新規就農者、海外ではコーヒー生産者をパートナーに、持続可能なバリューチェーンの再構築に取り組んでいます。少量不安定な生産でも品質が高ければ適正な価格で販売できる仕組みを整え、農薬や化学肥料を使わずに栽培された農産物や、アグロフォレストリー*で栽培されたコーヒーを販売。さらに、自治体や大学、企業と連携してリサーチや事業開発も行っています。

*樹木を植え、森を管理しながら、そのあいだの土地で家畜・農作物を飼育・栽培すること

代表者 : 小野 邦彦 本社所在地 : 京都市南区上鳥羽高島町56 設立日 : 2009年7月21日

資本金 : 50百万円 会社URL : <https://www.on-the-slope.com/corporate>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社坂ノ途中 広報担当 : 小西 TEL : 050-7111-4709 MAIL : pr@on-the-slope.com